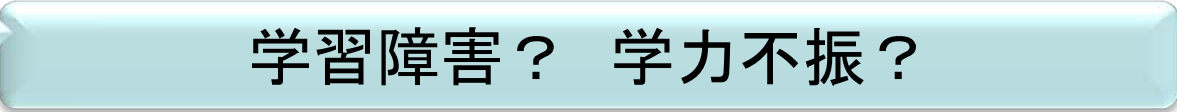


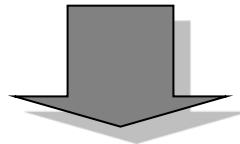
# 特別支援教育の問題点

- どの子が特別な支援が必要か、判断がむずかしい 
- 専門機関でないと、支援の詳細がわからない
- 要支援を受け入れない場合がある
  - 保護者、本人
- 要支援の子どもが複数在籍する場合、教師一人では対応困難

専門的な判断のむずかしさ、理解啓発のむずかしさ

# 特別支援教上の課題

- 一つの教室で、学力差・能力差への対応
- 一つの指導法で全員が学ぶことが困難



- Universal Design for Learning
  - すべての学習者が、学習に対する知識、技能、やる気を得ることを可能にするカリキュラムを設定するための枠組み

障害のある子を含む、  
すべての子どもが参加できる学び

誰もがわかる授業づくり

授業のユニバーサルデザイン(UD)

# 発達障害とその対応(例)

障害名	有効な支援	具体例
ADHD	集中できる 話を聞く 課題を成し遂げる	導入の工夫、スケジュール表(手順表)、自己評価法
PDD	見通しを持つ 話の意味理解 マイペースで(ゆっくり)	スケジュール表、視覚的の手がかり、黒板の分割、ICTの活用
LD	本人にあった学習 個別指導	支援プリント、机間支援、個別学習支援

発達障害への対応はすべての子どもにわかりやすい

# 授業のユニバーサルデザイン

- 授業構成の工夫

授業の流れを示す、導入の工夫、準備のタイミングの明示

- 指示、説明、発問の工夫

簡潔化、具体的、肯定的表現、活動がイメージできる表現

- 板書と机間支援の工夫

きれいな黒板、分割法、机間支援と一斉支援・個別支援

- 視覚情報や作業・動作の活用

視覚的の手がかり、「見て→読んで→書く」、作業動作で集中

特別な対応をすべての子に: 特別が特別でなくなる

# UDの成果

- ほとんどすべての子どもの学力を保障する
- どの子どもにもメリットがある
- テスト→診断→対応という従来の方法より、時間がかからない
- 診断されていない子どもにも適用できる
- 担任一人でもある程度特別な対応ができる

学力向上が本来の目的  
多様な実態に早期に対応できる予防措置

# UDLのための3条件

授業のUDがUDLになるためには

## ▶ I. 提示方法

いろいろな提示方法の利用

子どもたちに  
わかりやすく  
提示する、  
伝えるための  
方法

## ▶ II. 表現方法

いろいろな表現方法の利用

子どもたちが  
容易にできる  
意思表示・  
伝達方法

## ▶ III. 参加方法

いろいろな参加手段の利用

子どもたちが  
自己管理、  
自己選択、  
自己解決  
できるための方法



チェックリストを見てみましょう！

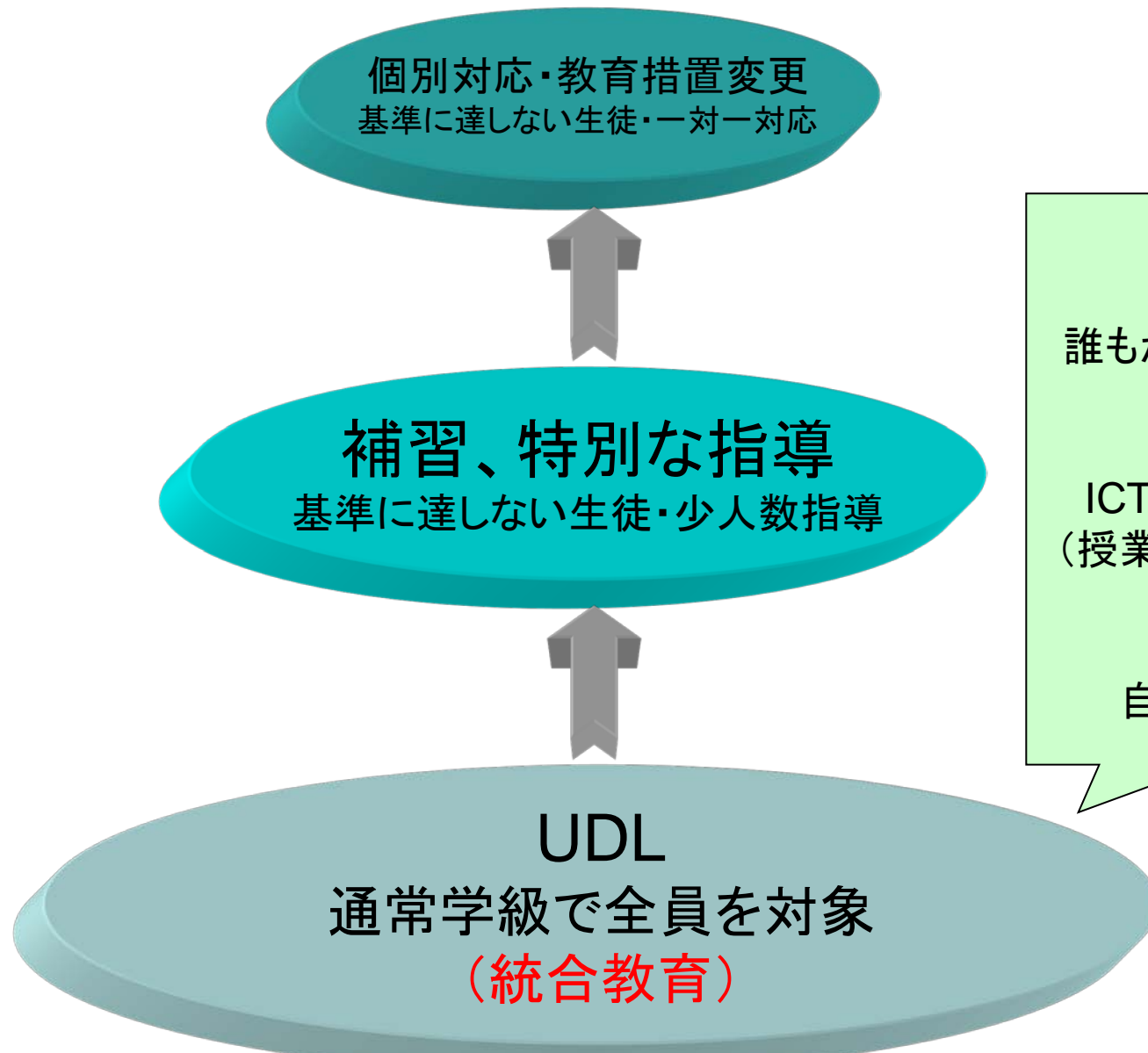
# 授業におけるUDLの適用

授業の展開	UDLの方法	具体例
目標提示 授業の内容説明	多様な提示方法の使用	学習スケジュール表
教師の説明	多様な提示方法の使用 多様な表現方法の使用	大型ディスプレイ 何でも言える雰囲気作り
課題	主体的な学びを保障する 多様な方法の提供	問題の解き方プリント ペア、グループ学習
発表	多様な表現方法の使用	どんな意見でも発表できた ことをほめる
確認と評価	多様な提示方法の使用 主体的な学びを保障する 多様な方法の提供	板書の工夫(マーク、アン ダーライン) 学習のふり返しシート

# UDLの条件

- 通常学級の全員を対象とした指導・支援である
- 学習困難や失敗させない予防的対応である
- 指導方法やルールを事前に説明する
- 成果を科学的に実証しなければならない
- 複数のスタッフで担当する（TT、連携）
- 段階的対応が求められる

UDLは統合教育を実施するためのもの  
UDLでうまくいかない子どもへの対応を準備すること



UDL

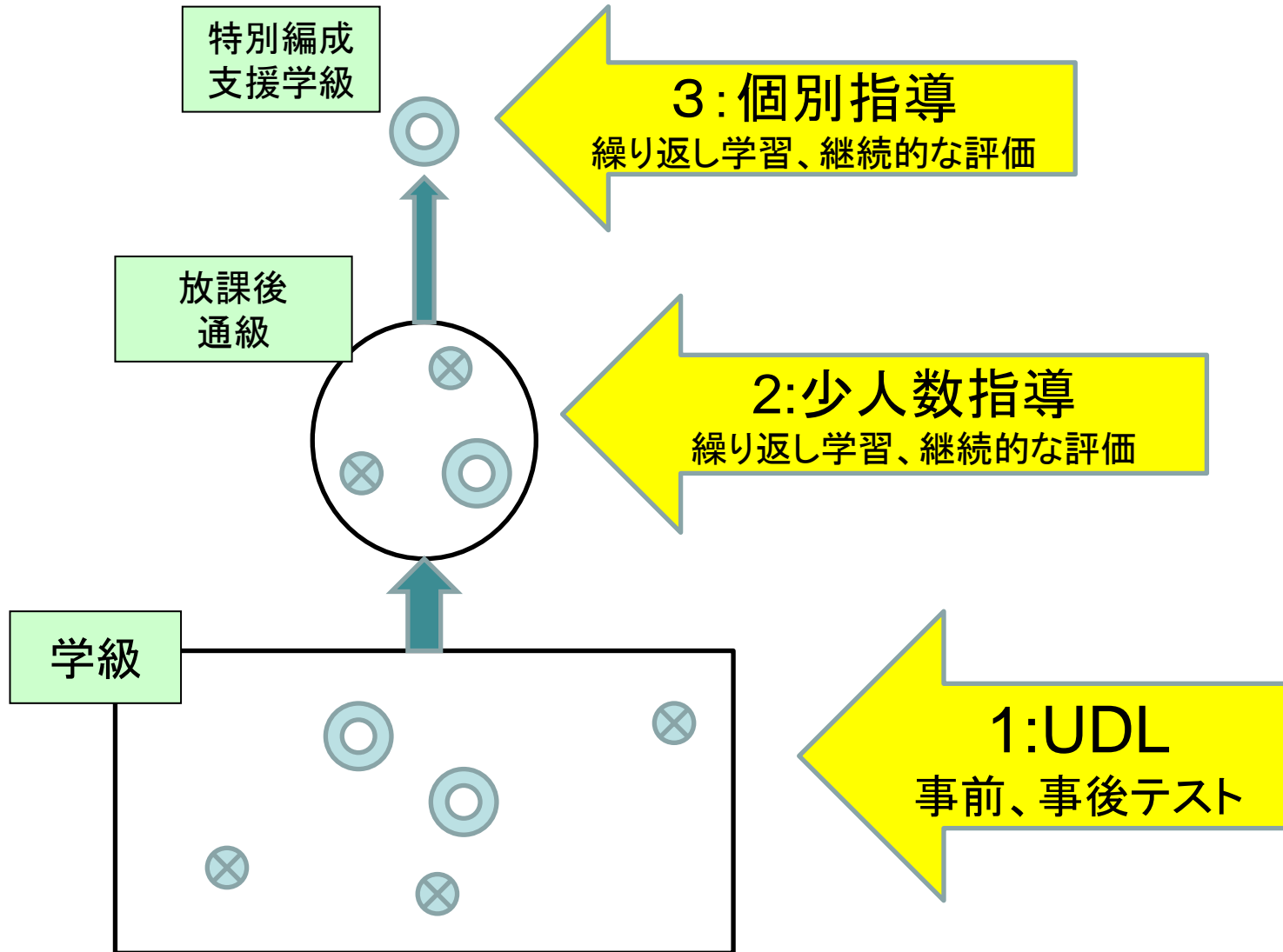
誰もがわかる授業の工夫

ICTの積極的活用  
(授業へ積極的参加)

自己管理・  
自己決定支援

UDLは予防的対応。できない子どもに対する準備をすること

# 段階的な介入



<p>Prevention (予防: 全員対象)</p> <p>Tier 1</p>	<p>UDL (学習のユニバーサルデザイン)</p>	<p>School Standard (スクールスタンダード)</p>
<p>Intensive Intervention (集中訓練: 特定の子ども)</p> <p>Tier 2(3)</p>	<p>グループ学習 補習 個別学習</p> <p>RTI</p>	<p>機能的アセスメント コンサルテーション PBS カウンセリング</p> <p>SWPBS</p>

RTI(Response to Intervention)と  
SWPBS(School Wide Positive Behavior Support)